

2014年7月18日

建築を志す若手人材を育成
第8回『長谷工 住まいのデザインコンペティション』を実施
テーマ: ある地方都市のストリートが集合住宅で再生する. 新しい暮らしがはじまる

(株)長谷工コーポレーション(本社:東京都港区、社長:辻 範明)は、建築を志す若手の人材育成を目的に、学生を対象とした第8回『長谷工 住まいのデザインコンペティション』を実施します。

本デザインコンペティションは、社会貢献活動の一環として2007年から継続して実施しており、全国の学生から洞察力に富んだ作品が数多く寄せられています。毎回異なるテーマ設定で、昨年の第7回では集合住宅を閉じた箱としてではなく、既存の街とつながりを持ちながら、いろいろな人・もの・ことを内包した「街っぽさ」を持つものとして捉えなおすことをテーマとしました。

今年のテーマは「ある地方都市のストリートが集合住宅で再生する. 新しい暮らしがはじまる」としました。地方都市には人口減少・高齢化や、中心市街地の衰退・修復できない伝統建築など、多くの課題がある一方、コンパクトであるため、ひとつのきっかけで街が再生する可能性もあります。「地方ならではの」のよさを生かした集合住宅には、新しい賑わいや交流を生み出すポテンシャルがあります。集合住宅による地方都市のシャッター通り商店街の再生を通じた、新しい暮らしの提案を期待しています。

(1) コンペ概要

課題: 「ある地方都市のストリートが集合住宅で再生する. 新しい暮らしがはじまる」

応募資格: 2014年12月31日時点で学生であること

(大学院、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校など)

(複数人で応募する場合は全員該当のこと)

登録・作品提出締切: 2014年10月23日(木) 必着

(送付のみ受付、バイク便不可)

※応募登録はデザインコンペティションホームページから

<http://www.japan-architect.co.jp/haseko/2014/>

審査講評・表彰式: 2015年1月11日(日) 開場 14:30

東京プリンスホテル 鳳凰の間

結果発表: 『新建築』2015年2月号および

当コンペホームページ上にて発表

賞 金: 最優秀賞 1点 100万円 / 優秀賞 3点各 50万円 /

佳作 10点各 10万円 (全て税込)

主 催: (株)長谷工コーポレーション

後 援: (株)新建築社

審査体制:

*審査委員長)

隈 研吾 (隈研吾建築都市設計事務所代表・東京大学教授)

*審査委員)

乾 久美子 (乾久美子建築設計事務所代表・東京藝術大学准教授)

藤本 壮介 (藤本壮介建築設計事務所代表)

池上 一夫 (長谷工コーポレーション取締役常務執行役員)

**8TH HASEKO
RESIDENTIAL DESIGN
COMPETITION**

第8回 長谷工
住まいのデザイン コンペティション

**ある地方都市の
ストリートが
集合住宅で
再生する
新しい暮らしが
はじまる**

【賞金】
最優秀賞 1点 100万円 / 優秀賞 3点各 50万円 /
佳作 10点各 10万円 (すべて税込、賞金総額 200万円)

【登録・作品提出締切】
2014年10月23日(木)必着 (送付のみ受け付けます、バイク便不可)

【結果発表】
2014年12月号『新建築』誌上で発表
(複数人で応募する場合は全員該当のこと)

※応募登録はホームページから
<http://www.japan-architect.co.jp/haseko/2014/>

主催: (株)長谷工コーポレーション
後援: (株)新建築社

審査委員長: 隈 研吾 (隈研吾建築都市設計事務所代表・東京大学教授)
審査委員: 乾 久美子 (乾久美子建築設計事務所代表・東京藝術大学准教授)
藤本 壮介 (藤本壮介建築設計事務所代表)
池上 一夫 (長谷工コーポレーション取締役常務執行役員)

COMPETITION HASEKO
<http://www.japan-architect.co.jp/haseko/2014/>

(2) 前回 (第7回) の応募状況

課題：「街っぽさのある集合住宅」
募集期間：2013年7月5日～11月5日
登録総数：752件 応募総数：333点

【最優秀賞】(1点)
「小ささの拡大表示」
坂上優 (芝浦工業大学大学院)
他、優秀賞(3点)、佳作(12点)



(3) 前回 (第7回) の表彰式、審査風景



(4) 第1回～第6回の応募状況

<第1回>

課題：「300人のための集合住宅」
募集期間：2007年8月23日～11月9日、**登録総数：783件 応募総数：348点**
【最優秀賞】
「300人のランドスケープ」高池葉子 (慶應義塾大学大学院) 湯浅崇史 (慶應義塾大学)

<第2回>

課題：「30年後の集合住宅」
募集期間：2008年7月10日～11月7日、**登録総数：804件 応募総数：378点**
【最優秀賞】
「小さな都市、大きな家族」 富山晃一+岩元俊輔+津野田祐基 (鹿児島大学大学院)

<第3回>

課題：「30戸の住宅から生まれ変わる集合住宅」
募集期間：2009年7月7日～11月9日、**登録総数：979件 応募総数：422点**
【最優秀賞】
「やねの森 roof forest」 井手口航+磯辺陽一+山口貴司 (慶應義塾大学大学院)

<第4回>

課題：「10の違うものが集まる100戸の集合住宅」
募集期間：2010年7月9日～11月8日、**登録総数：790件 応募総数：332点**
【最優秀賞】
「10 GROUNDS -大地の上で鼓動する建築・植物・街の活動-」 西倉美祝 (東京大学)

<第5回>

課題：再び「集まって住むこと」の豊かさ
募集期間：2011年7月8日～11月7日、**登録総数：1,095件 応募総数：501点**
【最優秀賞】
「人の表情, 建築の表情, 町の表情」 牧村将吾 (三重大学)

<第6回>

課題：「身近な場所のリノベーション」
募集期間：2012年7月5日～10月29日、**登録総数：582件 応募総数：217点**
【最優秀賞】
「へだたりのつながり」 石飛亮+武井良祐 (横浜国立大学大学院)